

# J A 自己改革推進レポートについて

令和3年10月25日  
J A 鳥取県中央会

## 1. J A 自己改革実践状況

### (1) J A 鳥取いなばの取り組み

#### ① 岩美南小学校梨収穫体験

J A 鳥取いなば岩美支店は9月15日、町立岩美南小学校の梨園で梨「二十世紀」の収穫体験を行った。3年生25人が対象で、小学校と高校の連携教育の一環で県立岩美高校の生徒15人も参加した。

J A 職員が収穫する際のポイントや注意点を説明し、児童・生徒らは約500個分の梨「二十世紀」を収穫した。

参加した児童は「みんなで育てた梨がたくさん採れて楽しかった。早く食べたい」と笑顔で話した。



#### ② 若桜町移動販売車お披露目の会

J A 鳥取いなばグループは10月1日、若桜町のトスク若桜店の店頭で、移動販売車の新車両のお披露目の会を開いた。同グループや同町などの関係者が新車両の完成を祝った。

移動販売車は、生活店舗がない地域で生活用品などを販売するため平成24年12月に同町で導入した。車両の老朽化を受け、J A 共済連所管の「J A 共済地域・農業活性化積立金」を活用して車両をリニューアルした。

新車両には持続可能な開発目標（SDGs）のロゴを描き、J A グループの活動とも連動し、町内の買い物支援を続けていく。



#### ③ 特産柿「西条」初選果 広域果実選果場柿開所式

J A 鳥取いなばは10月3日、特産柿「西条」の選果作業を八頭町の同 J A 広域果実選果場でスタートし、7日に初販売した。

選果前に行われた開所式では、J A や県、生産者ら約100人が参加した。同 J A では、広島・山口などの中四国の市場を中心に3万2千箱（1箱10<sup>キ</sup>）を出荷し、約1億1,800万円の販売を目指す。



#### ④ J Aグリーン愛菜館農園で青パイア実る

J A鳥取いなばのJ Aグリーン千代水店内にある「グリーンファーム愛菜館農園」で、栽培した青パイアが初めて実りを迎えた。

県内では倉吉農業高校が新たな特産化に向けて栽培研究に取り組んでいる。愛菜館運営協議会の徳永副会長らが同校を視察し、栽培方法などについて研修を重ねてきた。

今後は、隣接するJ A直売所の愛菜館での販売を予定している。



#### (2) J A鳥取中央の取り組み

##### ① 樹齢115年の梨を東郷小3年生が収穫！

9月10日、湯梨浜町立東郷小学校3年生が、同町の梨「二十世紀」の古木「百年樹」の園内で収穫体験をした。農業改良普及員が収穫方法をレクチャーし、「百年樹」を管理する生産者グループ「百年会」のメンバーやJ A鳥取中央の職員と収穫した。

児童たちは5月から小袋掛け、大袋掛け作業もしており、大袋掛けではイラストや名前を描いた袋を梨にかぶせて、この日の収穫では自分が描いた袋を探しながら収穫した。

玉太りもよく、糖度も最高の出来上がり、児童はうれしそうに収穫をしていた。初めて体験したという児童は、「すごく大きく育った梨がたくさんあった。家族みんなで食べたい」と笑顔で話した。



##### ② ブロccoli産地拡大へ！

J A鳥取中央は9月14日、ドローン（小型無人飛行機）による防除作業の実演会を琴浦町で開催した。従来の動力噴霧機を使う防除は、1ha当たり約5時間かかるのところ、ドローンでは約15分で散布を完了し、省力性を確認した。

実演会には、生産者、鳥取県、農薬開発会社ら50人が参加。使用したドローンは自動航行ができ、操縦が不要で時間短縮に加え、人件費削減にもつながる。

実演を見たブロッコリー生産者の寺岡さんは「散布技術もいらず、広い面積に有効だ」と可能性を感じていた。ドローンでの防除は散布むらが課題だが、実演したほ場で防除効果を検証する。

同J Aは、令和3年度から「シン・地方創生総合戦略」で、ブロッコリーの生産基盤の拡大に取り組んでいる。管内全体で217haから令和5年度までに2倍以上の500haに生産面積を拡大することを目標にしている。



### ③ 満菜館でJA広島中央のブドウを販売！

JA鳥取中央は、9月19日から「JA中央サミット」で連携するJA広島中央のブドウを倉吉市の直売所「旬鮮プラザ満菜館」で販売した。

今回販売したのは、広島県東広島市の「すざわ果樹園」で栽培する「伊豆錦」や「黒王」の黒ブドウなどで、鳥取県内では珍しい品種ということもあり、訪れた来店者は足を止めて買い求めている。特設ブースでは「すざわ果樹園」の可愛らしいイラストの化粧箱や、JA広島中央のポップを掲示した。来店者からは「一粒が大きくておいしそう。珍しい箱で贈り物に喜ばれそう」といった声が上がっていた。

「JA中央サミット」は中四国管内のJA名に「中央」が付く5つのJAで組織し、事業連携で農業振興、地域活性化につなげている。サミットの交流は今年で3年目だが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により加盟JA間の人的交流会は行わなかった。県域を越えた特産物の交流を継続させることで農業振興を強化していく。

同JAの栗原組合長は「お互いの特産品を補完しあいながら、サミットの目的を果たし、それぞれの地域の味を楽しんでもらいたい」と話した。



### (3) JA鳥取西部の取り組み

#### ① 生産者の努力詰まった梨「二十世紀」を皇室に献上。選果・引渡式

JA鳥取西部は9月1日、大山町で、天皇・皇后両陛下、上皇・上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下へ献上する梨の選果・引渡式を開いた。

同果実部が梨を献上するのは、13年ぶり。400玉の地元特産の梨「二十世紀」を光センサー式選果機などで測定し、糖度10.5以上、3L以上の赤秀を120玉に一次選果した。そこからJA役員や町長らが厳選した84玉を包装紙で丁寧に包み、キャップをかぶせて箱に詰めた。



#### ② 地元の小学生が梨「二十世紀」収穫体験

大山町立中山小学校の児童は9月3日、総合的な学習の一環で大山梨選果場見学と地元特産の梨「二十世紀」の収穫体験に挑戦した。

児童らは、選果場で収穫された梨がどのように選果され箱詰めされるのを見学したのち、梨園で6月初旬に児童らが袋かけをした梨「二十世紀」の収穫体験を行った。



### ③ ピーマン高品質3万箱出荷目指す。現地講習会

J A鳥取西部ピーマン部会は9月3日、県園芸試験場日南試験地で現地講習会を開いた。

各品種の特性などを学び、今後の栽培管理や病害虫防除の徹底やピーマンの色や大きさ、形状など出荷規格を確認し、高品質3万箱出荷を目指すことを申し合わせた。



### ④ 青壮年部が地域に貢献。草刈りボランティア

J A鳥取西部青壮年部は9月25日、米子市の国道180号線沿いで、除草作業ボランティアを行った。

参加者は草刈り機などを持ち寄り、道路沿い約1キロメートルにわたって生い茂った草などを刈り取った。同J A青壮年部では地域農業や青壮年部の活動や取り組みを広く理解してもらうため、地域貢献活動などに取り組んでいる。



## (4) J A全農とっりの取り組み

### サンテレビ阪神戦TV中継等での星空舞PR

関西圏を主たる放送エリアとする「サンテレビ」のプロ野球阪神タイガース戦のテレビ中継において、視聴者プレゼント（星空舞10kg×各10名様）とテレビCMの放送を行い、認知度向上を図った。また、下記の情報誌に「星空舞」を掲載いただき消費拡大につなげた。

- ・子育て応援フリーマガジン「Happy-Note」秋号「全国のおいしいお米特集」のページにて「星空舞」の特徴を解説。

読者プレゼント（星空舞2kg×20名様）

- ・「レタスクラブ」2021年10月号（9月25日発売）「新米特集企画」のページにて秋の新米の美味しい食べ方を紹介。

読者プレゼント（星空舞5kg×5名様）

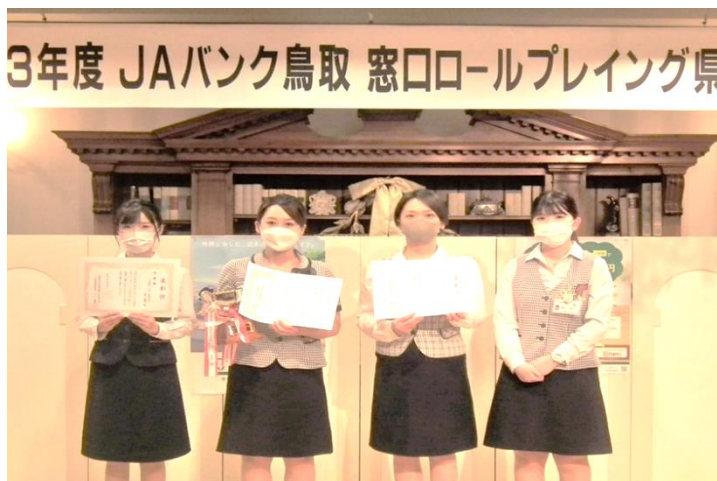


## (5) JA鳥取信連の取り組み

### 令和3年度JAバンク鳥取窓口ロールプレイング県大会開催

9月9日、ホテルセントパレス倉吉において、第7回目となる「令和3年度JAバンク鳥取窓口ロールプレイング県大会」を開催した。

本大会には各JAの予選大会を勝ち抜いた9名の窓口担当者が出場し、事前に用意された設例に基づき、お客様との会話の中からニーズを引き出したセールスを展開した。窓口担当者は、「お客様にとって効果的な商品は何か」、「お客様のライフスタイルに合ったサービスは何か」など創意工夫した商品説明や、お客様の心に響くセールストークなど窓口セールススキルを競い合い、白熱した大会となった。競技の結果、JA鳥取西部米子弓浜支所 廣島さんが優勝に輝いた。



左から JA 鳥取いなば 山根さん、JA 鳥取西部 廣島さん、  
JA 鳥取中央 豊口さん、JA 鳥取西部 橋本さん

順位	JA名	店舗名	氏名
優勝	JA鳥取西部	米子弓浜支所	廣島
準優勝	JA鳥取いなば	船岡支店	山根
第3位	JA鳥取中央	河北支所	豊口
特別賞	JA鳥取西部	名和支所	橋本

## (6) JA 共済連鳥取の取り組み

### オンラインウォーキング大会2021「げんきなカラダWALK」開催

JA 共済では令和3年4月から展開している健康増進活動「げんきなカラダプロジェクト」の一環として、「JA 共済 げんきなカラダプロジェクト オンラインウォーキング大会2021」（愛称「げんきなカラダWALK」）を開催する。

当該イベントは、ウォーキングを通じて健康増進活動へのきっかけ作りを目的として実施する。

概要	JA 共済アプリを活用した誰でも参加できるウォーキングイベント
期間	令和3年11月1日～令和4年1月31日 (第1期:R3.11.1～30/第2期:R3.12.1～31/第3期:R4.1.1～31)
参加申込	JA 共済アプリから専用申込フォームへアクセス(参加費無料)
賞品 (各期抽選)	4日達成賞(JA タウン厳選米)【各期500名】 15日達成賞(JA タウン厳選米+高級調理家電)【各期15名】 習慣化達成賞(JA タウン厳選米+JA タウンギフト券)【通期10名】

JA 共済  
げんきなカラダ  
プロジェクト  
オンラインウォーキング大会2021

# げんきなカラダ WALK

歩いていいこと  
GETしよう!

参加無料

10月1日(金)から  
参加申込開始!

開催期間

1期  
2021年11月1日(月)  
2021年11月30日(火)

2期  
2021年12月1日(水)  
2021年12月31日(金)

3期  
2022年1月1日(土)  
2022年1月31日(月)

JA 共済アプリの歩数計測機能を使って、1日の目標8,000歩を計測!  
開催期間中の達成日数によって、抽選ですてきな賞品が当たります。  
誰でも参加OK! げんきは毎日の一歩から! 歩いていいことGETしよう!

豪華賞品が当たる!

4日達成賞 500名  
JAタウン厳選米 2kg

15日達成賞 15名  
JAタウン厳選米 5kg + 高級調理家電

習慣化達成賞 10名  
JAタウン厳選米 500g + JAタウンギフト券 8千円分

健康増進活動

「げんきなカラダプロジェクト」

について

JA 共済では、健康増進に役立つ各種イベントやサービスによって、組合員・利用者・地域住民の皆さまに健康への気づきや、健康増進に資する活動を実践するきっかけを提供している。

「げんきなカラダプロジェクト」は、より「げんきなカラダ」になっていただくことを目指す施策で、JA 共済における健康増進に資する取組みを総称・象徴するものとして、展開している。

以上